

学校教育目標	～ 誇り～ (学校や自分に自信を持ち、生きる力を育みます。)				
	確立 (学力や体力など確かな力を身につけ、自主自律を育みます。)[知・体] 共生 (思いやりを持ち、自他を尊重する豊かな心を育みます。)[徳・公] 飛翔 (夢を持ち、未来を切り拓く力を育みます。)[開]				
学校概要	創立 74 周年	学校長 横山 康孝	副校長 山本 良	3 学期制	一般学級: 17 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 617 人 主な関係校: 都田小学校、都田西小学校、折本小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <自分づくりに関する力> <持続可能な社会の創造に貢献する力>	都田中学校 都田小学校 都田西小学校	○思いやりと自信を持って未来を切り拓く子ども ○学び合い、心身ともに健やかに生活できる子ども ・委員会交流、部活動交流、地域清掃などの機会に、リーダーシップ、メンバーシップ、あこがれ、等々の意欲的な心が育つように行事を進める。 ・毎月本校で行う教務主任会で、より連携が深まるよう、授業参観や行事の取組を確認する。 ・育てたい子ども像を共有し、児童生徒指導の取組について情報交換をする。

中期取組目標	○子どもを中心とした一人ひとりを大切にする、地域と連携した魅力ある学校づくりを目指します。 ・一人ひとりを大切にしながら、理解しやすく意欲的に学べる授業を目指します。 ・教育環境の整備を図り、子どもたちが主体的に活動できるよう努めます。 ・心身ともに健やかで、心豊かな生徒を育てます。 ・小中一貫教育を推進し、お互いのよさを知り連携していきます。 ・地域の伝統文化を大切に、地域行事に積極的に参加していきます。
---------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①学力の三要素をバランスよく身につけさせるための授業展開に努める。②生徒の思考力・判断力・表現力を高めるために学習の言語化を教科横断的に取り組む。③「じっくり考え 高めあい 次につなげる確かな学び」の充実に向けた評価に取り組む。④日頃から学習の意識を高めるための課題の提示に努め、家庭学習の充実を促す。
担当 学習指導部	
豊かな心	①生徒会や各委員会を中心とした募金運動やボランティア活動を精選して行い、どんな時でも人として大切なことは何かを意識させる。②道徳の時間において、[自主、自律][向上心、個性の伸長][思いやり、感謝][相互理解、寛容]の学習を充実させる。
担当 人権教育・道徳指導部	
健やか体	①新体力テストの結果を参考に、体力向上のために必要は運動を生徒自ら考えられるようにする。②各単元で走・投・跳などの数値を計り、体力向上に生徒自らつなげられるようにする。ランニング活動に取り組み、単元ごと各種目で運動能力を高める。
担当 体力向上推進委員会	
児童生徒指導	①YPアセスメントや教育相談、個別支援教育計画などを活用し、個に寄り添った丁寧な指導体制を徹底する。②委員会活動や部活動など様々な視点からマナーの向上に取り組ませる。とくに、SNS上でのマナー向上に努める。
担当 特別支援・生徒指導部	
地域連携	①地域行事にはその地域の生徒が参加するような流れをつくり、地域で継承していけるようにしていく。②学地連などを通して、学校・家庭・地域の連携を図り、より良いあり方を進めていく。
担当 渉外部	
キャリア教育	①進路情報の収集・整理・活用に努める。②地域を活用し、1年生で職業講話・職業インタビュー、2年生では職業体験、3年生では進路選択や面接に関する学習を行うなど、3年間を通して継続的に行っていく。
担当 総合学習指導部	
特別支援教育	①一人ひとりに合った支援をするために、校内の日々の支援体制に加え外部機関や保護者を含めた連携体制を強化する。②サポートルームでの学習活動は個々に合った目標を定め、全職員で情報共有しながら行う。また、学習方法は全教員が対応できる方法を取り入れる。③毎学期、学習サポート日を設定し、生徒の学習支援を行う。
担当 特別支援教育委員会	
担当	
いじめへの対応	①必要に応じて「いじめ対策防止委員会」を開催し、いじめの防止と把握、早期の対策に努める。 ②生活アンケートやY-Pアセスメントを活用し、日ごろから生徒たちの状況把握に努め、生徒理解を深める。 ③いじめ未然防止を組織的にさらに推し進めるため、教職員へ研修を通して、スキルアップを図る。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①不祥事、学校事故などの防止に向けて、年間を通じて計画的に研修を実施する。 ②働く時間短縮のために各部門は、組織的運営が充実するように情報共有を図り、意図的、計画的に仕事を進める。 ③メンター会議等を活用し、研修の機会を増やし、教員歴の浅い職員の育成とともに、ミドルリーダーの育成を図る。
担当 教務部	